

CASBEE-新築(簡易版)2010年版 (仮称)木津川市相築台一丁目PJ		欄に数値またはコメントを記入	■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)201 ■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)			
スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						3.1
Q1 室内環境						3.7
1 音環境		3.0	0.15	2.6	1.00	2.7
1.1 騒音		3.0	0.50	2.0	0.50	
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	1.0	0.50	
2 騒音発生設備		-	-	-	0.50	
1.2 遮音		3.0	0.50	3.3	0.50	
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能		-	-	4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		-	-	-	-	
2 温熱環境		1.6	0.35	5.0	1.00	4.3
2.1 室温制御		2.2	0.50	5.0	1.00	
1 室温		3.0	0.63	-	-	
2 室温調整設備		-	-	-	-	
3 外皮性能		1.0	0.38	5.0	1.00	
4 ゾーン別制御性		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		-	-	-	-	
2.3 空調方式		1.0	0.20	-	-	
3 光・視環境		2.5	0.25	3.2	1.00	3.1
3.1 屋光利用		2.4	0.30	2.5	0.50	
1 屋光率		2.0	0.60	2.0	0.50	
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30	
3 屋光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		2.0	0.30	4.0	0.50	
1 グレア発生設備		-	-	-	-	
2 屋光制御		2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境		4.2	0.25	4.2	1.00	4.2
4.1 発生源対策		5.0	0.60	5.0	0.63	
1 化学汚染物質		5.0	1.00	5.0	1.00	
2 化学汚染物質		-	-	-	-	
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理		-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御		-	-	-	-	
Q2 サービス性能			0.30			2.9
1 機能性		2.2	0.40	3.2	1.00	3.0
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	4.0	0.60	
1 広さ・収納性		-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		-	-	4.0	1.00	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理		2.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50	-	-	
3 維持管理費		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.2	0.31	-	-	3.2
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.5	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		5.0	0.23	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		5.0	0.15	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.23	-	-	

2.4 信頼性			3.2	0.19			
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3	電気設備		3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備	通信手段の多様化を図っている。	4.0	0.20			
3 対応性・更新性			2.8	0.29	2.3	1.00	2.4
3.1 空間のゆとり					1.6	0.50	
1	階高のゆとり				2.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ				1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			2.8	1.00			
1	空調配管の更新性		3.0	0.17			
2	給排水管の更新性		2.0	0.17			
3	電気配線の更新性		3.0	0.11			
4	通信配線の更新性		3.0	0.11			
5	設備機器の更新性		3.0	0.22			
6	バックアップスペース		3.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.5
1	生物環境の保全と創出		2.0	0.30			2.0
2	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40			3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30			2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性							3.8
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.6
1	建物の熱負荷抑制	省エネルギー等級4を取得	5.0	0.40			5.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.20			3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		2.0	0.50			
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光発電を採用	4.0	0.50			
3	設備システムの高効率化	潜熱回収型ガス給湯器(エコジョーズ)採用	5.0	0.40			5.0
	集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)						
	集合住宅の評価	#VALUE!	5.0				
4	効率的運用						
4.1	モニタリング						
4.2	運用管理体制						
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
1	水資源保護		2.2	0.15			2.2
1.1	節水		1.0	0.40			
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00			
2	雑排水等利用システム導入の有無						
2	非再生性資源の使用量削減		3.4	0.63			3.4
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20			
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	パーティクルボード	3.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げ材が分別可能	5.0	0.24			
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.6	0.22			3.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用	指定化学物質が含まれない建材の利用	5.0	0.32			
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.68			
1	消火剤		-	-			
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50			
3	冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境				0.30			3.4
1	地球温暖化への配慮		4.4	0.33			4.4
2	地域環境への配慮		2.9	0.33			2.9
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25			
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50			
2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.7	0.25			
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3	交通負荷抑制	自転車置場や駐車場の適切な規模の確保	4.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25			
3	周辺環境への配慮		3.0	0.33			3.0
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40			
1	騒音		3.0	1.00			
2	振動		-	-			
3	悪臭		-	-			
3.2	風害・砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制						
3	日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3	光害の抑制		3.0	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70			
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			